

平成 2 7 年 度

事業報告書

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

1. 社協組織の充実と会員の拡大

高齢になっても障がいがあってもすべての人が、いままで大切にしてきた家族やつながり、地域との関係の中で暮らし続けていくことができるような地域社会を作っていく「地域福祉」の推進を目的として、社協組織を運営し、事業推進における自主財源確保に努めた。

- (1) 理事会、評議員会を開催し情報の共有化を図るとともに、社協関連組織全体での研修会を開催、地域福祉についての理解を深め事業推進に努めた。

ア. 理事会の開催

第1回	平成27年5月18日
議案第1号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第2号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第3号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員の選任同意について
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決に係る第三者委員の選任について
議案第5号	大口社協デイサービスセンター運営規程の一部改正について
議案第6号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会役員、職員の給与諸手当並びに旅費に関する規程の一部改正について
第2回	平成27年5月25日
議案第7号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会正副会長の選任について
議案第8号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会正副会長の職務を代理する理事の指名について
議案第9号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会常務理事の指名について
第3回	平成27年6月19日
議案第10号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について
議案第11号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員の任期満了に伴う選任同意について
議案第12号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会日常生活自立支援事業に係る保管物品管理規程の制定について
議案第13号	大口社協居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について
第4回	平成27年10月20日
議案第14号	平成27年度大口町表彰式に係る被表彰者選考について
議案第15号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会法令遵守規程の制定について
議案第16号	大口社協デイサービスセンター運営規程の一部改正について
議案第17号	大口社協訪問介護(介護予防訪問介護)事業所運営規程の一部改正について
議案第18号	大口社協訪問介護事業所運営規程の一部改正について

そ の 他	社会福祉法人制度改革の動向について 平成27年度会員加入状況について 社協だより「10月号」掲載内容について 平成27年度西尾張ブロックボランティアフェスティバルについて 平成27年度職員採用について
第5回	平成28年3月15日
議案第19号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会特定個人情報取扱規程の制定について
議案第20号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会個人情報保護規程の一部改正について
議案第21号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会就業規則の一部改正について
議案第22号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会非常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について
議案第23号	平成28年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第24号	平成28年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について
そ の 他	社会福祉法人制度改革の動向について(第2弾) 平成27年度共同募金実績について

イ. 評議員会の開催

第1回	平成27年5月25日
議案第1号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第2号	平成26年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計決算について
議案第3号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事及び監事の任期満了に伴う選任について
第2回	平成27年6月23日
議案第5号	平成27年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算(第1号)について
第3回	平成28年3月25日
議案第6号	平成28年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について
議案第7号	平成28年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について

ウ. 研修会の開催

「平成27年度大口町社会福祉協議会合同研修会」

対象 社会福祉協議会理事・監事・評議員、民生委員・児童委員、福祉こども課

講師 社会福祉法人小牧市社会福祉協議会 在宅福祉課長 田中 秀治 氏

開催日	場所	内容	参加数
平成28年 2月29日	健康文化 センター1階 多目的室	「介護保険制度改革に伴う新たな総合 事業について」	55名

(2) 社会福祉協議会地域福祉活動計画の策定に向けて、研修会へ参加し情報収集及び策定方法の検討に努めた。

(3) 自主財源確保に努め、相互扶助推進の高揚を図り、会員募集に努めた。

*会員募集期間／7月～8月

*会費金額

一般会員 500円・賛助会員 1,000円・法人会員 3,000円

ア. 会員募集加入状況

*上段は平成27年度実績・下段は平成26年度実績

区分	加入数	金額	増減額	加入率
一般・賛助	4,885件	2,538,500円	▲131,000円	59%
	5,155件	2,669,500円		66%
法人	77件	536,676円	54,676円	/
	73件	482,000円		
その他	町外等	7,774円	3,774円	
		4,000円		
合計	3,082,950円		▲72,550円	
	3,155,500円			

2. 広報・啓発活動

町民の方々に広報やホームページなどさまざまな媒体を通して社協情報を発信した。

(1) 広報「社協だより」を年4回発行し情報提供の充実を図るとともに、「広報おおぐち」においても事業の啓発や案内を掲載し情報発信をした。

*社協だより発行月 4月・7月・10月・1月

*発行部数 8,300部

(2) 公式ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ、事業を公表、事業の利用及び参加・協力を働きかけた。

- (3) 視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページから福祉情報を発信した。
- (4) 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発に努めた。
- ボランティア参加数 10団体 82名
スタンプラリー体験者数 349名

ア. ふくしわくわくランド

開催日	場所	参加団体	実施内容
10月31日	中央公民館 駐車場	①高齢者疑似体験 うさぎとかめ	装具体験、高齢者体験
		②要約筆記スマイル大口	OHP体験
		③大口町手話サークル	手話体験、クイズ
		④防災ボランティア D・サポート丹羽	防災クイズ
		⑤災害救援ボランティア	ハイゼックス炊飯体験、防災用品紹介
		⑥ボランティアなでしこ	手作り小物展示販売
		⑦大口絆つなぐネット	ひつつみ汁炊き出し
		⑧おもちゃ病院おおぐち	おもちゃ修理、回収
		⑨トヨタ紡織(株)	車いす掃除、古本回収
		⑩大口町共同募金委員会	赤い羽根共同募金、災害義援金、スタンプラリー
11月1日	おもちゃ 図書館	⑪大口おもちゃ図書館 さくら	おもちゃ遊び、バザー

3. ボランティア活動の強化と拡大

ボランティアの拡大を図るとともに、行政、NPO、市民活動団体等の機関との連携を図れるようコーディネートした。

- (1) 町内児童センターにおいて、ボランティアサークルによる「夏休みボランティア出前講座」を行い、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。

サークル名 (人数)	開催日	場所	内容	参加数
高齢者疑似体験 うさぎとかめ(8名)	7月31日	北児童 センター	高齢者の不自由さを体 験しよう	23名
要約筆記スマイル大口 (6名)	8月21日	西児童 センター	伝える大切さを楽しく 学ぼう	30名
災害救援ボランティア (10名)	8月27日	南児童 センター	災害時に役立つグッズ 作り、防災クイズ等	49名

(2) 養成講座を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図った。

ア. レクリエーションボランティア養成講座 (全3回)

講師 レクリエーションコーディネーター 林 栄五郎 氏、松山 清子 氏

成果 町内の行事やイベント等でレクリエーションを行うための基礎的な
研修と人材育成を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
6月25日	生きがい活動支 援センター	「手足を使ったあそび」	17名
6月30日		「身近な道具を使ったあそび」	16名
7月7日	大口社協デイサー ビスセンター	大口社協デイサービスセンターで の出前レクリエーション体験	16名

イ. 手話ボランティア養成講座 (全12回)

講師 尾北聴覚障害者協会 中村 房子 氏

大口町手話サークルコスモス 市瀬 明美 氏 (手話通訳者)

成果 新たなボランティアの育成により、既存の手話サークルの補強を行う
ことができた。

開催日	場所	内容	参加数
1月7日	健康文化 センター4階 ふれあい2	開講式 身振り、挨拶について	6名
1月14日		名前、数について	9名
1月21日		家族、色について	6名
1月28日		趣味について	8名
2月4日		仕事について	8名
2月18日		誕生日について	8名
2月25日		病院、一日・一カ月・一年について	7名
3月3日		一日、一カ月、一年について	7名
3月10日		旅行について	6名
3月17日		学習のまとめ	6名
3月24日		健康文化センタ ー4階和室	手話サークル会員と交流
3月31日	健康文化センタ ー1階多目的室	感想発表、閉講式	7名

- (3) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修を開催し、平成27年度研修テーマ「健康」について学び相互の交流を深めた。

開催日	場所	内容	参加数
9月4日	(株)おとうふ工房 いしかわ高浜工房 (高浜市)	健康食に関する講話、とうふの手作り体験	31名

- (4) 「社協だより」にボランティアコーナー「ボランティア情報局」を掲載し情報を発信した。

- (5) ボランティア登録団体への活動育成費を助成した。

助成団体	助成金額
16団体	260,079円

- (6) ボランティア連絡協議会定例会を年5回開催し、情報の発信とボランティア相互の交流及び共通のテーマについての研修活動を支援した。(※平成27年度は、ボランティア総会を開催したため定例会は年5回)

ア. 平成27年度テーマ「健康」に関する研修活動

開催日	講師	内容
5月8日 (第1回)	合同会社 gene 代表 理学療法士	身体の変化に関する講話 「体の変化 姿勢・筋肉・関節 あなたは大丈夫？」
7月10日 (第2回)	養成講座参加者	レクリエーションボランティア養成講座報告
9月4日 (第3回)	(株)おとうふ工房いしかわ高浜工房職員	健康食に関する講話(ボランティアセンター運営委員会合同研修)
11月13日 (第4回)	整膚師、健康指導師	「手と足を活用することで健康な毎日を過ごしましょう！」
1月8日 (第5回)	(株)スギヤマ薬品 教育部次長・薬剤師	「健康をいつまでも保つために」

イ. ボランティア総会(2年に1回開催)

開催日	場所	内容
平成28年 3月26日	健康文化センター 1階多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア連絡協議会事業報告及び事業計画について ・役員改選について ・ボランティア連絡協議会規約について

(7) ボランティア保険の加入及び事故時の保険金請求等の事務手続きを行った。

ア. ボランティア登録者状況

(ボランティア活動保険加入者数)

* 上段は平成 27 年度実績・下段は平成 26 年度実績

	団体数	人 数	男 性	女 性
グループ	58	936 名	396 名	540 名
	58	1,036 名	453 名	583 名
個 人		9 名	4 名	5 名
		14 名	6 名	8 名
計		945 名	400 名	545 名
		1,050 名	459 名	591 名
増減人員		▲105 名	▲59 名	▲46 名

イ. 事故件数 2 件 (ボランティア活動中のケガ)

(8) 町内企業と連携を図り協働事業を行った。

(※) トヨタ紡織(株)との協働事業 (ふくしわくわくランド出展) については、
「3. ボランティア活動の強化と拡大」(4) の項目で別記

(9) ボランティア派遣依頼の調整を行った。

ア. 相談及び派遣件数

相談件数	派遣件数
15 件 (※)	11 件

(※) 相談件数は、本会の派遣決定を要さない相談・連絡調整のみの件数を含む

イ. 上記派遣件数のうち、学校からの依頼による派遣

協力団体 高齢者疑似体験 うさぎとかめ

開催日	場所	内容	参加数
11月19日	尾北看護 専門学校	老年看護学概論の講義として、学生 を対象に高齢者疑似体験の実践指導	40名

(10) 地域防災の一端 (ボランティア対策部) を担う社協として、大規模災害時に備え関係団体等との情報共有と連携強化に努めた。

(※) ボランティア団体と連携して実施した事業については、「16. 防災・災害事業」の項目で別記

4. 児童福祉

次世代育成としての子育て支援や小中学校での福祉教室、青少年ボランティア福祉体験学習事業を実施することにより、命の大切さや「ともに生きる」力を育くみ、地域の一員としての自覚が芽生えるよう事業を推進した。

(1) 町内小中学校と協働し福祉教室（福祉実践教室・総合学習）を実施した。

ア. 参加人数・実施科目等

学校名	学年	教室数	参加数	実施科目
大口中学校	1年	7教室	230名	知的障がい・発達障がい理解
大口南小学校	3年 ～ 6年	5教室	211名	手話教室（3年）、点字教室（4年）、車いす体験（5年）、盲導犬教室（6年）
大口北小学校	3年	6教室	101名 (延303名)	車いす体験、点字教室、盲導犬教室、手話教室
大口西小学校	6年	8教室	82名 (延410名)	点字教室、手話教室、車いす体験、高齢者擬似体験、視覚障がい者ガイドヘルプ、盲導犬教室

(2) 子育て支援サークルに助成した。

(3) おもちゃ病院「おおぐち」の活動を支援した。

(4) 青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施した。

期間	場所（町内高齢者及び児童福祉施設等）	参加数
8月20日 ～ 8月26日	①軽費老人ホーム 大口一期一会荘 ②特別養護老人ホーム 御桜乃里 ③グループホームしん・かむおん ④大口社協デイサービスセンター ⑤南・北・西児童センター ⑥南・北・西・中保育園 ⑦大口幼稚園、ラ・モーナ幼稚園	延83名 (大口中学校 JVC)

(5) 民生委員児童委員が行うドアノッキング事業に協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼントした。

項目	5ヶ月訪問	1歳訪問
配布数（品目）	231名（絵本）	245名（スプーンセット）

(6) 子育てサロン「まむ・まむ」の活動支援を行った。

(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

(7) 親子や家族で参加できる親子福祉教室（施設見学バスツアー）を実施し、家族で福祉について考える機会を提供した。

見学施設数 10か所（うち施設内見学4か所、給食試食1か所）

参加者数 21名（大人9名、小・中学生12名）

開催日	施設種別	紹介または見学施設	見学等
8月6日	高齢者ヘルパー、デイサービス 幼児・障がい者等自主事業	NPO法人わたぼうし	外から 見学
	高齢者認知症対応型グループホーム	じゃがいもグループホーム しん・かむおん	
	高齢者生活介護、軽費老人ホーム、 デイケアセンター等	大口一期一会荘	
	高齢者ショートステイ、デイサービス	ウエルシア暖らん	
	高齢者有料老人ホーム	太郎と花子	
	高齢者デイサービス 幼児・障がい者等自主事業	デイサービス ゆい	見学
	高齢者認知症対応型グループホーム・ デイサービス	大口ケアセンターあかり	外から 見学
	障がい者生活介護、就労継続支援B型等	ハートフル大口	見学 昼食
	高齢者特別養護老人ホーム、 ショートステイ等	御桜乃里	見学
	高齢者デイサービス	大口社協デイサービスセンター	見学
	高齢者介護予防、生きがい活動支援	大口町生きがい活動支援センター	見学

5. 高齢者福祉

高齢者にかかる地域課題について専門機関、福祉施設、行政、地域関係者との調整を図りながら解決に向けた取組みを展開し、さらに高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる「地域づくり」の推進や要介護者に対する支援事業の拡大に努めた。

- (1) 民生委員児童委員、ボランティアの協力で、80歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理配布事業を実施した。

実施日 平成27年12月30日

項目	単身高齢者世帯	高齢者世帯	合計
配布数	87世帯	37世帯	124世帯

- (2) 町内対象者、施設入所者に対し「敬老の日」のお祝い品を贈った。

実施日 平成27年9月18日

項目	在宅	施設	合計
配布数	154名	152名	306名

- (3) 介護者向け情報冊子「介護豆知識」を対象世帯に配布した。

- (4) 弁護士による相談日を設けた。

(※)「12. 相談事業」の項目で別記

- (5) 認知症の人やその家族の支援として、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援した。大口町地域包括支援センターと大口町歴史民俗資料館の協力を得て、介護相談や回想法を取り入れたレクリエーションを実施した。

(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

開催日	内容	参加数	スタッフ数
4月16日	昔なつかしいあそび（お手玉ゲーム）	30	17
5月21日	昔なつかしい道具たち（生活編）	24	12
6月18日	昭和歌謡イントロクイズ	33	13
7月16日	昔なつかしいあそび（おはじき）	27	11
8月20日	昔なつかしい風景（盆おどり）	21	12
9月17日	昭和歌謡イントロクイズ	23	13
10月15日	昔なつかしい道具たち（生活編）	23	11
11月19日	昭和歌謡イントロクイズ	17	11
12月17日	昔なつかしい風景（もちつき）	22	9
1月21日	昔なつかしいあそび（お正月）	24	12
2月18日	昔なつかしい道具たち（暖房器具）	18	10
3月17日	昔なつかしい道具たち（箱膳）	21	11

- (6) 大口町高齢者軽度生活援助事業（ホームヘルパー）を受託した。

- (7) 大口町生きがい活動支援通所事業（デイサービス）を受託した。

- (8) 大口町はつらつ健康体操（いきいき教室）を受託した。

(※)「14. 在宅福祉サービス3事業所の経営」の項目で別記

6. 障がい児者福祉

障がいがあってもいきいきと暮らしやすい地域にしていくことを目指し、専門家による相談事業の充実や外出支援、参加型事業の推進に努めた。

(1) 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「第31回大口町障がい者スポーツ大会」を開催した。

障がいをお持ちの方とその家族が、スポーツをとおして仲間や地域住民、民生委員、ボランティア等と交流し、社会参加の一助となる機会を提供することができた。

参加者 身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、その他一般参加協力団体 丹羽高校吹奏楽部、仲沖太鼓クラブ、春日井武将隊、江南ロータリークラブ、榊東海理化、民生委員・児童委員協議会、ボランティア連絡協議会

開催日	場所	内容	参加数
6月14日	中央公民館 集会室	ナイスシュート、車いす競争 パン食い競争、デカパン競争 玉おくり、玉入れ バンド演奏、アトラクション、総踊り	304名

(2) 重度身体障がい者日帰り事業を開催し、外出の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
10月27日	名古屋港水族館 徳川園	貸切リフト付きバス利用。名古屋港水族館の見学、徳川園の散策等	20名

(3) 大口おもちゃ図書館「さくら」の活動を支援した。

(4) 弁護士による相談日を設けた。

(※)「12. 相談事業」の項目で別記

(5) 大口町障害者等地域生活支援事業(移動支援事業)を受託した。

(※)「14. 在宅福祉サービス3事業所の経営」の項目で別記

(6) 精神障がい者を対象とするふれあいサロン「フリースペース れんげそう」の運営を支援した。

(※)「8. ふれあいサロン事業」の項目で別記

7. 母子父子福祉

ひとり親家庭対象の事業を実施し、生活課題や問題点について検討、相談事業の充実や教育における貸付事業の周知を図りながら、自立支援できる体制づくりを推進した。

- (1) ひとり親家庭日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
8月1日	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（大阪府）	貸切大型バスを利用。アトラクションの体験等	18家族 43名

- (2) 母子家庭等に対する就業支援として「就業相談日」を月1回設けた。
 (3) 母子寡婦福祉会への活動支援及び会員拡大に努めた。
 (4) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝いを贈った。

項目	お祝金	件数	合計件数
小学校	3,000円	4件	19件
中学校	3,000円	4件	
高校等	5,000円	11件	

- (5) 母子寡婦福祉資金等貸付制度を紹介し生活を支援した。

8. ふれあいサロン事業

ふれあいサロン立ち上げの支援や活動費に対する助成を行いながら、地域の見守り活動や地域の活性化につながるよう運営についての相談や支援を行った。

- (1) サロン設立初年度においての備品助成を行った。
 (2) サロン開催実績回数（上限24回）に対し助成を行った。
 (3) サロンに対するボランティア行事用保険の加入手続きを行った。
 (4) サロン活動で必要な備品の貸出を行った。
 (5) サロンのPRや広報等ちらしを作成し活動を支援した。
 (6) 各サロンが一同に会し情報交換できる「ふれあいサロン交流会」を開催した。

開催日	場所	内容	参加数
平成28年 1月28日	健康文化 センター1階 多目的室	第1部 サロン紹介、情報交換会 第2部 オレンジカフェ・大口で取り組む 回想法を使ったレクリエーションの紹介	47名

ア. 平成27年度ふれあいサロン開催実績

種別	サロン名	開催日	場所	参加数
障がい	フリースペース れんげそう	第2・第4木曜日 13:00～16:00	健康文化センター 4階 和室	延 437 名
傾聴	傾聴サロン わらおうかい 笑桜会	第3火曜日 13:00～15:00	老人福祉センター 1階 憩い処さくら屋	延 196 名
子育て	まむ🌸まむ	毎週火曜日 10:00～12:00	健康文化センター 2階 おもちゃ図書館	延 1,318 名
介護	オレンジカフェ・ 大口	第3木曜日 13:30～15:00	生きがい活動支援セ ンター	延 425 名
地域	外坪 ほっこり	第2・第4水曜日 9:00～12:00	外坪学共	延 696 名
地域	大屋敷新田 いっぷく茶屋	第1土曜日 9:30～11:30	新田集会場	延 523 名
地域	上小口萩島 ちやちやかい 茶々会	第2土曜日 13:30～16:00	萩島集会場	延 127 名
地域	さつきヶ丘 サロンさつき	毎週水曜日 10:00～16:00	さつきヶ丘 防災センター	延 2,400 名
地域	さつきヶ丘 げんきかい 元気会	第1金曜日 第3火曜日 13:00～15:30	さつきヶ丘 防災センター	延 385 名
地域	大屋敷 にこにこ	第1・第3水曜日 9:30～11:30	大屋敷学共	延 272 名
地域	河北 陽だまり	第2水曜日 9:30～11:30	河北区学供、仲沖集 会場、二ツ屋学共	延 576 名
サロン数		11 か所	総参加数	延 7,355 名

9. 福祉関係団体の育成・助成

町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図った。

団 体 名	金 額
身体障害者福祉協会	450,000 円
心身障害児（者）親の会	110,000 円
更生保護女性会	10,000 円
遺 族 会	380,000 円
母子寡婦福祉会	80,000 円
保護司会	10,000 円
尾北地域精神障害者家族会（しらゆり会大口支部）	40,000 円
尾北地区聴覚障害者福祉会	10,000 円

10. 共同募金

共同募金運動への理解・協力を高めるため、募金の意義についての周知を図り、財源の充実と事業の拡大を進めた。

- (1) 大口町共同募金委員会運営委員会を年3回開催し、共同募金事業計画を策定し共同募金運動の推進を図った。

ア. 大口町共同募金委員会運営委員会

開催日	場所	内容
6月12日	健康文化 センター1階 会議室	平成26年度の実績・監査結果報告 平成27年度の募金目標額及び赤い羽根共同募 金配分金事業について
9月2日		第67回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクールの 第一次審査 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい街頭募 金活動について
平成28年 2月17日		平成27年度赤い羽根共同募金実績報告 災害義援金送金実績報告 児童生徒作品コンクール結果報告

イ. 赤い羽根共同募金：期間 10 月 1 日から 12 月 31 日

* 上段は平成 27 年度実績・下段は平成 26 年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率		
3,440,000 円	戸別	11 区	2,407,600 円	▲113,862 円	101.6%	
		11 区	2,521,462 円			
3,519,000 円	法人	6 社	388,276 円	40,137 円		
		3 社	348,149 円			
	街頭	3 回	85,827 円	44,108 円		
		2 回	41,719 円			
	職域	29 社	596,975 円	133,643 円		96.2%
		28 社	463,332 円			
	その他	3 件	17,849 円	4,123 円		
		3 件	13,726 円			
合計			3,496,527 円	108,139 円		
			3,388,388 円			

ウ. 歳末たすけあい募金：期間 12 月 1 日から 12 月 31 日

* 上段は平成 27 年度実績・下段は平成 26 年度実績

目標額	募金方法別実績額		増減額	達成率		
160,000 円	街頭	1 回	62,926 円	▲21,436 円	80.0%	
		1 回	84,362 円			
	職域	16 社	55,074 円	3,527 円		
		16 社	51,547 円			
189,000 円	法人	0 社	0 円	0 円		78.8%
		0 社	0 円			
	その他	1 件	10,000 円	▲3,091 円		
		4 件	13,091 円			
合計			128,000 円	▲21,000 円		
			149,000 円			

(2) 共同募金配分金事業の推進と充実を図った。

(3) 共同募金配分金事業を広く PR をし、協力事業所の拡大と、住民の認識を高めた。特に職域募金について、従業員間で直接募金を呼びかける職域募金活動の輪を広げる「赤い羽根共同募金バトンリレー」を支援した。

ア. 赤い羽根共同募金バトンリレー募金実績

実施事業所	募金額	参加数
ヤマザキマザック株式会社	154,216 円	ヤマザキマザック株式会社役職員 18 名 大口町共同募金委員会役職員 5 名

(4) 町内店舗、ふれあいまつり等において協力団体による街頭募金を実施した。

ア. 街頭募金実績

募金種別	実施場所	募金額	協力・実施団体
赤い羽根共同募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	40,307 円	大口町民生委員 児童委員協議会
赤い羽根共同募金	町民体育祭	22,587 円	ボーイスカウト 大口第1団
赤い羽根共同募金	ふれあいまつり	22,933 円	大口絆つなぐネット 大口町共同募金委員会
歳末たすけあい募金	アピタ大口店、バロー大口店、ヨシヅヤ大口店	62,926 円	大口町 更生保護女性会

(5) 募金機能付自動販売機を設置し募金活動の普及に努めた。

ア. 募金実績

設置場所	募金額
軽費老人ホーム大口一期一会荘 1 階	325,286 円
大口町健康文化センター1 階	

(※赤い羽根共同募金の「法人募金」実績額に含まれる)

(6) 災害復興義援金の窓口を設置し、募集・送金を行った。

ア. 送金実績

義援金名称	送金額
長野県神城断層地震災害義援金	1,133 円
ネパール地震災害福祉活動支援募金	830 円
平成 27 年台風第 18 号による大雨等災害義援金	36,073 円
台風第 21 号与那国町災害義援金	13,863 円
屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金	4,303 円
平成 27 年台風第 18 号による大雨等災害義援金	273 円
台風第 21 号与那国町災害義援金	170 円
合 計	56,645 円

11. 貸付事業

安定した生活を図るために他の資金の借り入れが困難な所得の低い世帯や、障がい者・高齢者の方を含む世帯にご利用いただく貸付事業を行った。

さらに、貸付世帯に対する貸付後の訪問や相談支援を行いながら、償還指導を包括的に行った。

(1) 生活福祉資金貸付制度

民生委員の協力を得て、生活福祉資金調査委員会による審査後、愛知県社会福祉協議会への申請手続きを行った。

ア. 相談件数 38 件

項目	福祉資金		教育支援資金
	福祉費	緊急小口資金	
件数	1 件	25 件	12 件

イ. 生活福祉資金調査委員会開催回数 1 回 (教育支援資金)

ウ. 貸付状況

資金種類		件数	貸付金額(元金) (1)	貸付利子 延滞利子(2)	累計償還額 (3)	*未償還額 (滞納額を含む)(4)
福祉 資金	福祉費	3 件	2,320,000 円	1,034,684 円	828,270 円	2,526,414 円
	緊急小 口資金	7 件	570,000 円	287,981 円	78,000 円	779,981 円
離職者支援資金		1 件	2,400,000 円	1,361,942 円	57,140 円	3,704,802 円
総合支援資金		5 件	2,934,000 円	418,043 円	210,305 円	3,141,738 円
教育 支援 資金	教育 支援費	9 件	7,191,000 円	90,665 円	4,511,110 円	3,854,555 円
	就学 支度費	4 件	1,084,000 円			
計		29 件	16,499,000 円	3,193,315 円	5,684,825 円	14,007,490 円

*未償還額 (4)=(1)+(2)-(3)

(2) 県くらし資金 (愛知県社会福祉協議会 原資 200,000 円)

ア. 貸付状況

*上段は平成 27 年度実績・下段は平成 26 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円
7 件	213,000 円	20,000 円	193,000 円

*未償還額 (3)=(1)-(2)

(3) 町くらし資金（大口町社会福祉協議会 原資 2,000,000 円）

ア. 貸付状況

* 上段は平成 27 年度実績・下段は平成 26 年度実績

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	*未償還額(3)
37 件	792,000 円	117,000 円	675,000 円
40 件	835,000 円	201,000 円	634,000 円

*未償還額 (3)=(1)-(2)

(4) 緊急一時貸付等

生活困窮者への緊急食糧支援として、関係機関と連携しフードバンクへつなぐ対応を行った。

1 2. 相談事業

専門機関や専門知識を持つ相談員による相談窓口を開設し、日常生活の悩みごとや地域における問題解決のための相談を行った。

(1) 心配ごと相談所

第 1・第 3 水曜日 午前 10 時から午後 3 時 30 分

県女性相談員による女性相談、県母子父子自立支援員による自立支援相談
(第 3 水曜日は県女性相談員による女性相談のみ)

第 4 水曜日 午後 1 時 30 分から 4 時 30 分

高齢者・障がい者のための弁護士相談

ア. 相談状況 59 名（男性 7 名・女性 52 名）

相談内容															合計
生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	健康・医療	精神	人権・法律	財産	児童福祉	教育・青少年	心身障がい	ひとり親家庭	高齢者福祉	苦情・その他	
0	2	3	13	24	0	14	2	7	0	0	1	2	0	4	72

(2) 総合福祉相談窓口常設

ア. 相談状況 5 名（男性 2 名・女性 3 名）

援助内容		合計
相談	金銭管理	
6 件	135 件	141 件

13. 日常生活自立支援事業

専門員による相談窓口を開設し、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。

- (1) 福祉サービス利用に関する相談・情報提供や手続きの支援
- (2) 日常的な金銭管理サービス
- (3) 書類や通帳等の預かりサービス

ア. 相談状況 5名（男性3名・女性2名）

対象者	援助内容		合計
	相談 (初回相談受付含む)	福祉サービス利用援助 金銭管理、書類等預かり	
認知症高齢者	1件	25件	26件
知的障害者	2件	274件	276件
精神障害者	1件	133件	134件
総計			436件

14. 貸出事業

町民、行政区、学校、企業などを対象に各種貸出サービスを行った。

目的：地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援

- (1) 車椅子 (2) 松葉杖 (3) 福祉車両 (4) 綿菓子機
- (5) ポップコーン機 (6) 福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ)

ア. 貸出状況

* 上段は平成27年度実績・下段は平成26年度実績

種 類		種 類		合 計
車イス・松葉杖	135件	福祉車両・	22件	
	139件	普通自動車	13件	
綿菓子機・ ポップコーン機	30件	福祉教材・	13件	200件
	22件	サロン用備品等	13件	187件

15. 在宅福祉サービス3事業所の経営

介護保険法や障害者総合支援法における介護サービスのほか、独自サービスや行政からの委託事業などを実施し、在宅生活を支えた。

- (1) 大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）
- (2) 大口社協訪問介護事業所（介護・介護予防・障害者総合支援・独自・委託事業）
- (3) 大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防・独自・委託事業）

ア. 3事業所の実績

* 上段は平成27年度実績・下段は平成26年度実績

* 利用者数は、平成28年3月末現在の実利用者数

①大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）

区分	予 防	介護度1～2	介護度3～5	合 計
利用者数	21名	44名	13名	78名
	20名	39名	17名	76名
増 減	2名	5名	▲4名	2名
収 入	1,022,853円	7,880,891円		8,903,744円
	926,487円	7,620,900円		8,547,387円
増 減	96,366円	259,991円		356,357円

②大口社協訪問介護事業所（介護・介護予防・障害者総合支援・独自・委託事業）

区分	居宅介護等	軽度生活援助	総合支援	合 計
利用者数	35名	6名	29名	70名
	35名	6名	23名	64名
増 減	0名	0名	6名	6名
収 入	15,616,334円	504,000円	8,476,968円	24,597,302円
	18,139,402円	584,000円	8,845,855円	27,569,257円
増 減	▲2,523,068円	▲80,000円	▲368,887円	▲2,971,955円

③大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防・独自・委託事業）

区 分	通 所 介 護	生きがい活動	いきいき教室	合 計
利用者数	③8名、④22名	9名	30名	69名
	③13名、④17名	10名	16名	56名
増 減	③0名、④1名	▲1名	13名	13名
収 入	32,625,783円	1,898,800円	4,066,400円	38,590,983円
	24,456,148円	2,152,500円	3,084,300円	29,692,948円
増 減	8,169,635円	▲253,700円	982,100円	8,898,035円

(4) 毎月経営会議を開催し、経営強化に努めた。

(5) 介護職員の研修会等への参加を促進し、スキルアップやサービスの質の向上に努めた。愛知県ホームヘルパー連絡協議会ブロック別研修会開催に努めた。

16. 防災・災害事業

防災・災害に関する啓発活動や、ボランティア団体等と協働し、災害救援や防災のノウハウを広めながら、町民の防災意識の高揚を図った。

(1) 大口町防災啓発事業を受託した。

(2) 防災・災害に関する講演会を開催し地域の防災意識の高揚と、防災力の向上を図った。

(3) ボランティア団体とともに防災・災害に関する講座及び訓練を実施した。

ア. 介護サービス事業所役職員を対象とする災害図上訓練(D I G)講習会

協力団体 災害救援ボランティア

開催日	場所	内容	参加数
12月12日	健康文化センター1階多目的室	町内介護サービス事業所役職員及び町健康生きがい課職員を対象として、災害時の避難支援や介護を想定した災害図上訓練を実施した。	14事業所 27名

イ. 防災講演会

講師 認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

演題 「大規模災害時の異業種広域連携の必要性について」

開催日	場所	内容	参加数
平成28年 3月5日	健康文化 センター4階 ほほえみホール	東日本大震災の被災地へお見舞い品を送るレスキューストックヤードの活動をとおして、復興支援の現状を伝えた。また、日頃の災害対策や地域の団結力の大切さを訴え、震災を風化させず次に生かすよう防災意識を啓発した。	120名

(4) 岩手県遠野市社協との相互応援協定締結により災害時相互応援協定継続事業を実施した。

ア. 岩手県遠野市社会福祉協議会・大口町社会福祉協議会 合同災害支援訓練

実施日	場所	内容	参加数
7月11日	遠野市社会福祉協議会（総合福祉センター） 応急仮設住宅 希望の郷「絆」サポートセンター	東日本大震災発生後、遠野市社会福祉協議会が取り組んだ災害時の介護と避難者支援について研修を行った。	14名
	釜石市社会福祉協議会 生活ご安心センター	甚大な津波被害を受けた岩手県沿岸部の社会福祉協議会が行ってきた復興支援、地域コミュニティの再生について研修を行った。	10名
	大槌町社会福祉協議会ボランティアセンター		12名
7月12日	遠野市綾織地区（綾織まつり会場）	遠野市社会福祉協議会役職員、綾織地区住民とともに、災害時炊き出し訓練としてきしめん300食の炊き出しを行った。	15名

(5) 災害時職員行動マニュアルを作成した。

17. 福祉関連事業

(1) 福祉事業功労の顕彰や講演会等を開催した。

ア. 大口町表彰式典

開催日	場所	顕彰者	参加数
11月21日	健康文化 センター4階 ほほえみホール	社会福祉協議会会長表彰 福祉団体の会長5年以上 1名 家庭介護5年以上 3名 社会福祉協議会会長感謝 福祉事業増進のために寄付した 団体 1団体 福祉団体の役員10年以上 1名	112名 (会全体)

イ. 愛知県社会福祉大会

開催日	場所	顕彰者	参加数
10月30日	愛知県体育館	大口町社会福祉協議会推薦分 県社会福祉協議会会長表彰 1名 県社会福祉協議会会長感謝 2名	約1万名 (会全体)

(2) 点字投票制度への協力を行った。

(3) その他社会福祉事業に必要な事業を推進した。

ア. 西尾張ブロックボランティアフェスティバル

実施日	場所	内容	参加数
11月29日	扶桑町文化会館 扶桑町中央公民館	「つなごう きずこう ボランティアの力」をテーマに、14市町村のボランティア団体及び福祉施設のブース出展による活動の発表と相互交流、講演会等を実施した。開催地の丹羽郡が幹事として、扶桑町と大口町のボランティア、社会福祉協議会がFOプロジェクトを組織し、ボランティア主体のフェスティバルを推進した。	871名 (会全体)

*大口町参加団体数 4団体

ボランティアなでしこ(6名)、高齢者疑似体験うさぎとかめ(7名)、災害救援ボランティア(13名)、ハートフル大口(2名)

*推進委員会の開催 2回 *実行委員会の開催 4回

*FOプロジェクトの開催 17回

イ. 平成27年度3市2町社会福祉協議会連絡協議会（幹事）

実施日	場所	内容
7月17日	大口町生きがい活動支援センター	会長・事務局長会議 平成26年度事業報告・決算報告及び平成27年度事業計画・予算（案）等について
11月26日	健康文化センター1階多目的室	第1回職員研修会 「改正介護保険における「新しい地域支援事業」について 講師 小牧市社会福祉協議会 在宅福祉課長 田中 秀治 氏
平成28年 2月1日	健康文化センター1階多目的室	第2回職員研修会 「これからの地域福祉に求められる社協の役割について」 講師 日本福祉大学学長補佐 原田 正樹氏

(4) 社会福祉事業に関する福祉サービス苦情解決制度により、苦情解決を行った。

ア. 第三者委員への苦情報告件数 11件